災害に対応する組織を確立

満場一致で松崎会長を再選

当協会は五月二十一日、福島市のホテル辰巳屋で会員八十五人出席のもと第四十九回通常総会を開催し、事業量の拡大確保対策推進等八項目を重点目標とする平成十一年度事業計画を採択するとともに、地域社会に対する貢献として、昨年、県内を襲った集中豪雨を教訓に災害防止・災害復旧組織の確立することなどを柱とした実施事業を満場一致で採択した。また、任期満了に伴う役員改選では、松崎勉会長を再選、副会長には佐藤春雄氏の続投と齋藤正良氏の就任を承認した。（事業計画を2面に掲載）

第49回通常総会開く

総会は、午後三時に佐藤春雄副会長が開会を告げ、松崎勉会長があいさつに立った。この中で松崎会長は、「不況が長期化する中で公共・民間とも事業量が低迷し、各社とも困難な経営環境に置かれている」と厳しい状況分析を示すとともに、「協会としては、事業量確保のために建築設備分野に加えて、土木関連設備工事においても会員の活用を関係機関に要望し、理解を得るに至った。新しい競争の時代が鮮明になる中で、工事量の減少や低価格競争の激化等により各社の疲弊が高まり、ともすれば、これまでに築き上げた会員間の結束すら脅かされる状況にある。しかし、地方における中小規模の専門工事業者である私達は、協会の旗の下で連携と協調を強固なものとし、手を携えて難局に臨まなくては、変化の激しい時代の激流に飲み込まれてしまいかねない」と一層の団結を訴えた。

会員85人が出席し四議案を審議した総会

会員の結束を強調する松崎会長

清野孝信事務局長

光和電設工業㈱宍戸和美社長

続いて新会員の光和電設工業㈱（福島支部）と四月から事務局長に就任した清野孝信氏を紹介、このあと、相双支部の早川武邦氏を議長に選出して議事に入り、提出された四議案を審議し、全てを満場一致で決定した。

このうち議案第一号・平成十年度事業報告並びに同決算書の承認では、公共事業受注の確保に関して電気設備の分離発注と地元企業の優先活用を国や県、関係事業団などに要望・陳情を実施した経過や、技術力向上に向けて県の指導を受け、中堅技術者を対象に開催した研修会・講習会等の開催内容、さらに各支部単位で県の建設事務所や各市担当者の指導を受け実施した現場研修や技術講習会等の経過について説明がなされたほか、福利厚生事業の一環として実施しているグループ保険の加入・給付状況についても報告が行われた。

各経営者に構造改革を求める内容に

議案第二号・平成十一年度事業計画（案）並びに同予算（案）では、「平成十一年度において公共投資は大きな伸びを見せているものの、個人消費・設備投資・住宅投資、各面における民需総崩れには歯止めがかからず厳しい状況が続く」との見通しから、「経営者自らが危機意識を持ち、一体となった構造改革に取り組むことが重要であり、率先して問題解決に努める姿勢が重要」とした上で、事業量確保拡大や技術力向上、後継者の育成と社員の資質向上、女性電気工事技術者（エレッサ）の育成、地域社会に対する貢献として災害時における組織的な対応、建設関係機関・友好団体との連携強化を重点目標に実施事業を提案、全て原案通り採択した。

議案第三号は、知事の所管に属する公益法人の設立許可及び指導基準の改正に伴う定款改正で、定款第十四条のうち「監事二名以上三名以内」を「二名以上四名以内」に改め、員外監事に道を開いた。

最後に行われた任期満了に伴う役員改選は、議長指名による選考委員により推薦された役員を承認、引き続き開かれた役員会で、正副会長、専務理事、理事、監事を選出した。

以上で全議案の審議が終了し、三瓶良孝副会長の言葉で閉会した。

新役員を選出

副会長に佐藤、齋藤氏

員外監事を梶原氏に委嘱

新役員は次の通り。

▽会長＝松崎勉（いわき支部・大和電設工業㈱）

▽副会長＝佐藤春雄（福島支部・北藤電設㈱）、齋藤正良（いわき支部・常盤電設産業㈱）

▽専務理事＝秋吉政則（事務局）

▽理事＝高橋武（福島支部・高橋電気工業㈱）、福永哲郎（同・巴電設㈱）、大室功（同・㈱大室電業）、大槻賢彌（同・大槻電設工業㈱）、梅澤利夫（同・㈱菅野電気工業所）、先崎元勝（郡山支部・東新電気工業㈱）、渡辺道雄（同・三友電設㈱）、今泉博通（同・日新電設㈱）、佐藤信夫（同・佐藤電気工事㈱）、中島朋康（白河支部・福島電設㈱）、浅川誠吾（同・㈱浅川電設）、車田昭（同・車田電気工業㈱）、鷲定昭（いわき支部・植田電機㈱）、會川文夫（同・會川電機㈱）、早川武邦（相双支部・早川電気工業㈱）、八巻正隆（同・旭電設工業㈱）、青田純（同・㈱青田電気商会）、渡部光一郎（会津支部・㈱桜電機商会）、佐藤脩一（同・㈱会津電気工事）、新田一則（同・㈱光電設）

▽監事＝渡辺清吉（福島支部・須南電気㈱）、成田昌彦（郡山支部・㈱郡山電機製作所）、佐藤博（いわき支部・常興電機㈱）、梶原寿昭（員外）

委嘱状を受ける梶原氏

総会で選出された新役員の紹介（懇親会）

電設新聞
発行所
社団法人
福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
〒960-8114
福島市松浪町9－6
（福島県電協会館）
電話（024）533-6226
編集印刷㈲福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA
明るく、スリムで、長寿命。
天井革命シリーズ
東芝薄型照明器具
ネオスリムV
東芝ライテック株式会社
郡山営業所 TEL.(024)922-5511

National 松下電工
新登場！カンタン結線のカンタッチアロー盤。
●電線を差し込むだけで施工時間は従来の約1/2（当社従来品比）。ネジなしカンタン結線「速結端子」を内蔵。
●ワンタッチで着脱できる「プラグインアダプタ」付。
●充電部を隠ぺいした安全性の高いカバー構造。
業界初※のネジなし！
カンタッチブレーカ搭載 アロー盤
（分電盤）　（ネジ止め作業ナシ）　（思わずニッコリ）
◎「カンタッチブレーカ搭載アロー盤」に関する資料のご請求は、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工・福島営業所 TEL（024）939-7731,FAX（024）939-4777まで。※二次側「速結端子内蔵」、一次側「プラグインアダプタ」付のブレーカを搭載した分電盤で業界初。平成10年4月現在、当社調べ。
A&i 快適を科学します

第49回総会にあたって

会長　松﨑　勉

第四十九回通常総会にあたり、一言、ごあいさつを申し上げます。

この一年を振り返りますと、長引く景気の低迷により、投資マインドは一層冷え込み、少子・高齢化や高度情報化に向けた設備投資が必要な時期にもかかわらず民間設備投資が停滞したことに加えて、財政難により公共工事業量も減少するという厳しい環境に置かれました。

加えて、建設産業政策大綱が示す「新たな競争の時代」が徐々に鮮明となり、電気設備工事業界におきましても、技術と経営に優れ、社会的信用を得ることが二十一世紀に生き残れる企業の条件となってきたことを痛感した年でありました。

こうした中、本県におきましては、本協会会員も整備工事に携わりました福島空港二千五百メートル滑走路が供用開始されたことをはじめ、重要港湾小名浜港における東南アジア航路の開設、高速交通網の整備促進などと共に、建築の分野では、県産業交流館・ビッグパレットふくしまや県立医科大学看護学部などの大型プロジェクトが完成し、海洋文化学習施設や女性総合センター等の施設が着工するなど、県政の基本目標である「うつくしま・ふくしま」の実現にむけて、各事業が着実に前進した一年でもありました。

しかし、七月から本県を襲った度重なる豪雨は、改めて自然の猛威を私達に知らしめ、特に、八月末に県南地方中心に中通りを襲った集中豪雨は、死者十一人、被害総額は二千億円を超えるという未曾有の大被害となり、県民の物心両面に大きな爪痕を残すことになったわけであります。

会員の皆様におかれましては、被害拡散の防止と早期復旧に向けて、災害発生時より迅速なる対応に努められましたが、このことは、被災地住民や災害復旧本部の関係者より高い評価をいただいたことを報告致します。

本当にご苦労さまでした。私達の活動は、地元・電気設備工事業界の重要性を一層高めたものと確信いたします。

改めて申し上げるまでもなく、平成十一年度は、長引く不況により、私達にとって、受注量の確保が大変大きな課題となりましたが、協会と致しましては、厳しい受注環境に鑑み、県内で発注される公共工事の会員企業優先活用を図るため、建築設備ばかりでなく、トンネル照明や光ファイバー布設など、土木関連電気設備工事に関しましても、総力を挙げて要望・陳情活動を行い、事業量確保に努めたものであります。

同時に、協会創立以来の最重点項目である「技術力の向上」を進め、各種研修会や現場見学会、施工体験発表会などを開催し、電気設備工事の現場で第一線に立つ技術者の資質向上に努めると共に、技術力の底上げを図り、常に新技術に取り組む本協会の姿勢を内外にアピールして参りました。

平成十一年度におきましても、厳しい受注環境は続く見通しであることから、私達が有する優れた施工技術と地場産業としての役割について、発注機関の皆様にご理解いただきながら、総力を挙げて事業量の確保拡大に向けた活動を推進することが何よりも重要と考えております。

また、昨年の大災害を教訓として、災害への備えと共に、災害復旧組織の確立を図り安心して暮らせる県土づくりに貢献致したいと存じます。

ところで県内では、災害復旧工事の契約などにより建設事業量の一時的増加が伝えられておりますが、電気設備工事に関してみれば、建築関係工事の減少や低価格競争の激化等により各社の疲弊が高まり、ともすれば、これまでに築き上げた会員間の結束すら、脅かされる状況にあります。

しかし、地方における中小規模の専門工事業者である私達は、協会の旗の下で連携と協調を強固なものとし、手を携えて難局に臨まなくては、変化の激しい時代の激流に飲み込まれてしまいかねません。

会員の皆様におかれましては、これまで培った実績を足場に、常に挑戦する技術集団として、さらに一歩前進することが求められると考えます。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げあいさつと致します。

総会懇親会

電設業の発展誓う

渡辺県出納長らが出席

第四十九回通常総会に引き続き午後五時半から催した懇親会には、渡辺貞雄県出納長をはじめ来賓多数が出席、新役員と新会員の紹介や功労者表彰を行った。

渡辺出納長　三保 議長　菅野建設部長

はじめに、再選された松﨑会長があいさつに立ち、総会の審議経過や平成十一年度事業計画について説明するとともに「平成十一年度も、建設業を取り巻く環境は厳しいが、協会創立以来の最重点項目である技術力の向上を推進し、私達が有する施工技術と地場産業としての役割について皆様にご理解いただきながら、会員一同、挑戦する技術集団として前進したい。特に、建設産業政策大綱が示す新たな競争の時代が徐々に鮮明になる中で、技術と経営に優れ、社会的信用を得ることが二十一世紀に生き残れる企業の条件となってきたことを自覚するとともに、併せて地域社会の利益に貢献する公益法人として、その役割を果たすべく、一歩でも前へ進めるよう全力を尽くす」と決意を述べた。

次に、総会で選出された新役員と新入会員（福島支部・光和電設工業㈱）を紹介、昨年度の県優良土木建築工事電気設備部門知事表彰に輝いた常盤電設産業㈱とクレハ電機㈱の現場代理人を業界功労者として表彰した。

常盤電設産業（上）とクレハ電機の現場代理人

引き続き来賓祝辞が行われ、はじめに登壇した渡辺貞雄出納長（知事代理）は「本県発展のため電気設備工事業界は大きな役割を担っている。今後とも技術力の向上と経営体質強化に努められることを期待する」と語り、続いて祝辞に立った三保恵一県議会議長は、「景気の本格的な回復を図るため臨機応変に取り組む」と述べた上で「県内業者の受注量確保と育成・活用なくして産業の発展は望めない。今後とも分離発注の実施と地元業者の活用に努めたい」と議会の姿勢を示した。

また、菅野廣男福島市建設部長（市長代理）は、「急速な高齢化や環境問題が問われる中で、二十一世紀に向けたまちづくりを押し進める時期にあり、環境保全や高度情報化を実現する設備に注目が集まっている。電設業協会においても会員が結束され、より一層の発展を遂げるよう期待する」とはなむけの言葉を述べた。

このあと、坂本晃一県土木部長の発声で出席者全員が乾杯し、和やかに交流を図った。

英知を結集し技術向上

総会で決定した事業計画

平成十一年度事業計画

平成十一年度における我が国の経済情勢は、公共投資は大きく伸びは見せているが、個人消費・設備投資・住宅投資の民需総崩れには歯止めがかからず景気回復には多くを望めず、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

特に、業界を取り巻く環境は大きく変貌を遂げ、社会的にも地球環境の保護や高齢化への対応等の大きな課題に直面していることは本協会も同様で、このような環境の変化を無視する訳にはいかない。

このような厳しい時代であればこそ、運営を含めた構造改革に従業員らが一体となって取り組む必要があり、そのためには、経営者自らが危機意識を十分にもち、率先して問題解決に努める姿勢を示すことが、最も重要であると思われる。

本協会は、このような現状を十分に認識し、会員相互の信頼と結束を一層強化し、英知を結集して技術の向上と経営の安定に努め、本協会発展と社会的地位の向上を図るものとする。

【重点目標】

①事業量の拡大確保対策の推進
②優れた施工技術・施工能力を生かし、常に挑戦する技術集団への推進
③会員企業後継者の育成と社員資質の向上
④若年者員の確保並びに女性電気技術者（エレッサ）の育成
⑤地域社会に対する貢献ア災害防止の対応イ災害復旧組織の確立
⑥建設関係機関・友好団体との連携強化

【実施事業】

①総会・役員会及び各委員会の開催
②公共・民間工事における分離発注及び地元企業業者の活用についての陳情要望
③技術向上に関する研究・指導ア技術に関する講習会・研修会・講演会の開催イ工事施工体験発表会・現場研修会の開催ウ技能五輪全国大会への参加と支援エ各種高等技術専門校等の積極的活用
④県及び関係団体並びに関連企業との協議・懇談
⑤県電気工事工業組合との連繋協議
⑥機関紙「電設新聞」・会員名簿・各種刊行物の発行配布
⑦福利厚生事業の推進
⑧会員相互の親睦に関する事業の開催並びに各支部間の協調
⑨その他、随時適切な事業の実施

提案から、設計・施工、メンテまで
National/Panasonic
取扱い機器　● 放送設備　● ホール音響設備　● 大型映像　● コンピューター　● ITVカメラ設備　● 情報通信機器
東北松下システム（株）
福島支店　郡山市図景２丁目１番１１号　TEL 024-923-1710
福島営業所　福島市西中央３丁目２６番地の１　TEL 024-535-6116
会津営業所　会津若松市町北町大字始字深町１０番地　TEL 0242-25-2776

三菱照明器具・換気扇
株式会社三菱電機ライフテック東北
福島支店　TEL(024)534－7121
郡山支店　TEL(024)959－6060
いわき支店　TEL(0246)26－0211
会津支店　TEL(0242)27－4425
原町営業所　TEL(0244)22－8821

ディーゼル発電機　ガスタービン
コージェネレーションシステム
東北ヤンマー株式会社
いわき支店
〒971-8124
福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四-一
TEL(〇二四六)五八-五八一一
FAX(〇二四六)五八-五六八八

OKADA
地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。
電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター
岡田電気産業株式会社
本社　〒979-3131福島県いわき市平谷川瀬字明治町27　TEL(0246)25-6111　FAX25-6101
営業所　白河　TEL(0248)27-3385㈹
須賀川　TEL(0248)72-7136㈹
郡山南　TEL(024)923-3298㈹
郡山北　TEL(024)939-3081㈹
会津　TEL(0242)28-2155㈹
原町　TEL(0244)22-5105㈹
相馬　TEL(0244)35-1234㈹
福島東　TEL(024)546-3700㈹
福島　TEL(024)553-1181㈹
いわき南　TEL(0246)28-6111㈹
勿来　TEL(0246)62-3122㈹
茨城県内・千葉県内・埼玉県内・新潟県内　20ケ所
住設建材営業所　福島県内　5ケ所

新時代に対応する事業

県建産連が通常総会開催

㈳県建設産業団体連合会の第十五回通常総会が、五月三十一日に福島市のホテル辰巳屋で開かれ、平成十一年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では目黒和夫会長を再選した。この席で当協会の松﨑勉会長は、副会長に再選された。

総会では、目黒会長が「当建産連は、構成団体に共通する課題に取り組んでいるところだが、本県における社会資本整備の必要性を改めて主張するとともに、新しい競争の時代に対応する事業計画を推進したい」とあいさつした。続いて来賓祝辞が行われ、佐藤栄佐久知事が「県では未来に飛躍する基盤づくりに力を入れており、新時代に向けた施策に取り組んでいるが、この中で建設業の果たすべき役割は大きい。建設業は構造改革の中で新たな課題に直面しているが、経営基盤の強化を図り期待に応えていただきたい」と述べたほか、三保恵一県議会議長は「長引く不況を深刻に受け止め、景気がこれ以上失速することのないよう適宜施策を展開したい」と景気対策にかける意気込みを語った。

議事では、平成十年度事業報告・収支決算報告、平成十一年度事業計画案・収支予算案等が審議され、全て原案通り採択された。決定した事業計画では、景気回復に向けた取り組みを行うと共に、「入札・契約制度の改善や経営事項審査制度並びに許可制度の見直し、また、人材確保・育成、建設工事の効率化・コスト縮減、情報化・OA化の推進など建設産業界を取り巻く環境は速いテンポで変化し、厳しい対応が求められている」との認識から、建設工事量の継続的確保・拡大や平準化発注に関する要望をはじめ、経営力や技術力の向上と若年技能労働者の確保育成、建設資機材の安定供給、労働災害の防止等を実施事業に盛り込んだ。

平成11年度事業
組織力強化などが柱
日本電設工業協会東北支部

㈳日本電設工業協会東北支部の第四十二回通常総会は五月十七日、仙台市の仙台東急ホテルで開催され、当協会から松﨑勉会長、秋吉政則専務理事、清野孝信事務局長が出席した。

東北各地から約八十人が出席した総会では、平成十年度会務報告・収支決算、平成十一年度事業計画案・収支予算案を審議、労務・安全や技術向上に関する事業が採択された。

決定した事業計画では、運営に関する事項として、会勢拡大に向けた未加入協会との交流をはじめ、加入協会間の連携を密にしながら会員の要望、提言を各方面に反映させるための活動を行うこと。労務・安全に関する事項として、労働条件を改善するため調査研修を行うとともに会員に対する普及啓蒙に力点を置くこと。技術者確保育成に向けた「大学生による現場見学会」の実施、さらに労働災害絶滅に向けた活動や安全管理・安全作業に関する工法、工具等の紹介、法令などの周知を盛り込んでいる。

一方、技術に関する事項としては、各種講習会の開催や十年度に改定された「トラブル防止例集」の活用、関係団体との連携、協調、情報交換、資格取得事業に対する支援を打ち出している。

澤氏に建産連会長顕彰
建設構造改善推進週間で

澤壮一郎氏

県と㈳県建設産業団体連合会主催による建設産業構造推進週間記念講演会と平成十一年度優秀施工者県知事顕彰式・県建設産業団体連合会会長顕彰式が五月三十一日に福島市のホテル辰巳屋で開催された。

構造改善週間記念講演会は、講師に建設省建設経済局建設業課の新宅幸夫構造改善係長を招き、「建設業をめぐる最近の話題」と題して行われた。新宅氏は、建設投資の低迷、建設業者数と建設投資のバランス崩壊など市場の大きな構造変化の中で、受注の減少、利益率の低下により、建設業が厳しい経営環境に直面している現状を説明し、調査機関のデータと照合しながら解説した。

引き続き、顕彰式典が執り行われ、県知事顕彰に選ばれた五人が川手副知事より、建設産業団体連合会長顕彰に十三人が目黒会長より顕彰状が授与された。当協会関係では、澤壮一郎（いわき支部・大和電設工業㈱）氏が建設産業団体連合会会長顕彰に輝いた。

谷津田氏の功績称える
平成11年度知事表彰伝達

平成十一年度各種功労者知事表彰が五月七日に県庁正庁において行われ、各地域、産業界で功績のあった個人・団体が晴れの栄誉を受けた。

このうち、電気設備工事業界からは、県電気工事工業組合理事長の谷津田倫幸氏（本協会相双支部・谷津田電機工事㈱）が建設産業功労者として表彰された。

表彰状授与は、地方自治や福祉、教育などの各分野で活躍している五十人と納税組合三団体、そして県立田村高等学校陸上競技部を含む五十四人一人ひとりに、佐藤知事が表彰状を手渡した後、「住民福祉、産業の振興、教育文化に活躍され、県土の繁栄を導いていただいたことに感謝を申し上げる。皆さんは県民の鏡であり、その識見、経験をさらに発揮していただき、今後も積極的に県の発展への協力をお願いしたい」と式辞を述べた。

続いて市長会長の吉田修一福島市長、町村会会長の松本充葛尾村長が祝辞を贈り受賞者を労うとともに、今後の活躍に期待を示した。これに対し、地方自治功労者として表彰を受けた渡辺彌七氏（川俣町長）が「我々は日頃から立場上、社会的責務としてやるべきことを行ってきただけだが、今後とも地域貢献に微力ながら尽くしていきたい」と謝辞を述べた。

知事表彰を受賞した谷津田倫幸氏は、昭和五十二年以来、二十二年余にわたって県電気工事工業組合理事、同副理事長、同理事長等として、組合員の指導育成と組織の発展に尽力し、建設産業の振興発展に寄与したことが高く評価された。

郡山市で説明会
県の共通仕様書改正

県の建築・設備工事共通仕様書が改定され平成十一年度版が発行されたことに伴い、四月二十六日に郡山市のビッグパレットふくしまで説明会が開催され、本協会の会員も多数出席した。

説明会では、県土木部土木検査課の高野勝昭課長があいさつに立ち「この仕様書は、昭和六十二年の発行後に二回ほど改正されたが、今回の改正は平成六年度以来の大幅なものとなった。改正内容を理解し、詳細事項まで確認をお願いしたい」と述べた。

引き続き建築編に関する改正点ついて説明され、このあと設備工事編に関する説明が行われ①分電盤や制御盤及び受配電盤の構造仕様③配線や水槽及び衛生器具の耐震施工③屎尿浄化槽設備処理方式等について詳しく解説された。

30日に福島市で
当協会第十四回工事施工体験発表会

当協会は、六月三十日午後一時半から福島市の県青少年会館を会場に第十四回工事施工体験発表会を開催する。

今回も、三人の技術者が、日頃、現場で感じていることをテーマに発表を行う。

安全研修を充実
建災防県支部が総会

建設業労働災害防止協会県支部の第三十五回通常総会が、五月二十八日に福島市のホテル辰巳屋で開かれ、労働安全推進を図るための現場指導や啓発広報活動の実施を盛り込んだ事業計画を採択した。この総会には来賓として佐藤正史県土木部監理課副主幹、神戸崇福島労働基準局安全衛生課長らが出席した。

総会では、目黒和夫支部長が、「一層の労働安全衛生を図ろう」とあいさつしたのに続いて議事に入り、平成十年度事業報告・収支決算、平成十一年度事業計画案・予算案を審議し、全て原案通り決定した。

同支部では、三大災害撲滅や安全施工サイクル運動等を柱に中小地場総合工事業者を対象とした自主的安全衛生管理能力向上に向けた教育と新任現場所長等に対する教育研修を実施するほか、労働基準局指定技能講習等も年間事業に盛り込んでいる。

最後に行われた任期満了に伴う役員改選では、目黒支部長を再選、本協会の松﨑勉会長は理事に就任した。

第30回 協会ゴルフ大会結果

●6月2日開催●

会津磐梯カントリークラブ

1	目黒	勝	70.0
2	福永	哲郎	70.4
3	荒	秀夫	71.2
4	先崎	元勝	72.0
5	三浦	光博	72.0
6	立原	龍一	72.0
7	渡部	昌彦	72.2
8	西郡	喜博	72.6
9	加藤	忠昭	72.6
10	渡部光一郎		72.6
20	三瓶	良孝	74.6
30	橋本	慎悟	76.2
40	大槻	賢彌	77.8
50	鈴木	春治	82.6
BB	丸山不二雄		93.0

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

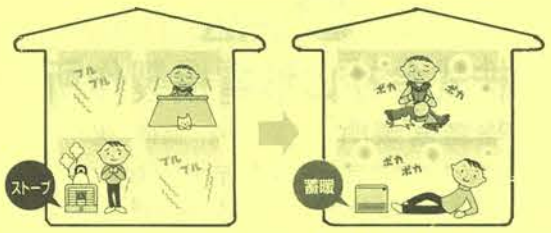
福島事業本部	福島市泉字南谷地5－6	☎(024)557－2177
福島事業所	福島市泉字南谷地5－6	☎(024)557－2161
原町事業所	原町市高見町2－106－5	☎(0244)22－3568
郡山事業所	郡山市富久山町久保田字田池7－1	☎(024)932－6054
白河事業所	白河市東三坂山2－47	☎(0248)22－6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42－1	☎(0246)36－1177
若松事業所	会津若松市町北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32－3350
須賀川事業所	須賀川市大字西川字後田78－5	☎(0248)72－9120

高断熱・高気密住宅のベストパートナー

クリーン・安全・経済的
オール電化住宅
これからの住まいです。

●お問い合わせは、お近くの東北電力へ

東北電力



※一般在来工法イメージ図 各室暖房

※高断熱・高気密住宅イメージ図 全館暖房でポカポカ

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市若林区土樋97・TEL(022)225-7511㈹

■福島営業所／福島市瀬上町字桜町3丁目12-3 ☎(024)553-8551㈹
■郡山営業所／郡山市大槻下町東52 ☎(024)961-6667㈹
■いわき営業所／いわき市好間町下好間鬼越47-1 ☎(0246)36-5533㈹
■原町営業所／原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106㈹
■相馬営業所／相馬市椎木字北原104-1 ☎(0244)35-6350㈹

技術と信用を誇る
電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

(販売元) 大然総業株式会社
(製造元) 大全電機株式会社

〒983 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL(022) 288-0701㈹　FAX(022) 288-0705

春と秋，夕暮れと夜。
1つのランプが2つの光色を持ちました。

ツインアーク

1つの外球バルブ内に水銀ランプと高圧ナトリウムランプの2つの発光管を収めた2光色発光形HIDランプ「ツインアーク」誕生

EYE 岩崎電気株式会社

郡山営業所・☎(024)961-2292　FAX61-2265
いわき事務所・☎(0246)23-1386　FAX22-3716

協会支部だより

福島支部

支部の結束を確認

さる五月七日午後三時から福島市のウエディングエルティで支部の通常総会が全会員出席で開催された。

議案審議に先立ち、大槻支部長が、「景気低迷が長期化し、大変厳しい環境下にあるが、このような時こそ支部会員の団結が必要」と述べた。

提出された議案は、平成十年度事業報告並びに決算、平成十一年度事業計画案並びに予算案、役員改選で全て原案通り決定した。

なお、本年度の重点目標として、事業量の確保、二十一世紀に向け技術集団としての施工技術、施工能力のたゆまない前進、後継者の育成、安全運動の推進、地域社会への貢献を決議し総会を終了した。

郡山支部

新支部長に渡辺氏

平成十一年度郡山支部総会は、五月十五日に郡山市の郡山ビューホテルアネックスにおいて開催された。

最初に三瓶支部長より「現下の厳しい経済環境とはいえ、当支部において一社、不幸な事態で欠員が生じたことは誠に残念であった。しかし、このような時こそ一致協力し、技術の研鑽に努め苦境を乗り切り、越えて参りましょう」とのあいさつがあった。

次に平成十年度事業報告・同決算報告、十一年度事業計画などについて審議が行われ承認された。

引き続き役員改選に入り、まず選考委員五名を選出、委員長に池添祥彬氏（池添電設㈱）、委員に内山鷹守氏（県南電気工事㈱）、佐藤信夫氏（佐藤電気工事㈱）、成田昌彦氏（㈱郡山電機製作所）、飛田尚宏氏（㈱中央電業社）の五名により選考委員会が開催された。協議結果について池添委員長から「時代に対応できるよう若返りを図った布陣をと考慮しました」と経過が報告されるとともに、新役員として渡辺道雄、先崎元勝、佐藤信夫、今泉博通、成田昌彦の五氏が発表された。ただちに五氏により協議の結果、理事に渡辺道雄氏（三友電設㈱・再選）、先崎元勝（東新電気工業㈱・再選）、今泉博通（日新電設㈱・新任）、佐藤信夫（佐藤電気工事㈱・新任）の四氏、監事に成田昌彦（㈱郡山電機製作所・新任）。新しい支部長は、渡辺道雄氏に決定した。

新支部長のもと、フレッシュな感覚をもって支部運営がなされるものと思われる。私達会員は、出口の見えない経済不況の中、ただ、ひたすら優れた施工技術と能力の向上、労働災害防止、業界の健全化に努力を傾注すると共に、会員の融和、一致団結を確認しつつ総会を終了した。

白河支部

総会で新役員決定

白河支部の総会が五月十四日に白河市内の花文支店において、午後六時より支部会員全員出席にて開催されました。

道又支部長より開会あいさつの後、平成十年度の決算報告並びに事業報告を行い、会計担当者より支払い明細と通帳の提示があり全員が確認了承されました。引き続いて平成十一年度の予算案と事業計画案について各社より出された意見をまとめた結果、支部の運営資金については、今後益々厳しくなるとの見解から、「特別にかかる費用については、その都度会費制にしては…」との意見がまとまり、現状の景気にあった費用の使い方をしていく方向で決まりました。

また、事業計画案については、技士会との研修会等を活発に実施できるように支部としても支援体制を取り、さらに㈳日本電設工業協会の技士会への入会により、今後の運営についても協力できる体質づくりをすることでまとまりました。

最後に任期満了に伴う支部役員の改選が行われました。選考については、いろいろと提案がありましたが、投票による選出に決まり、結果は中島氏（福島電設㈱）、浅川氏（㈱浅川電設）、車田氏（車田電気㈱）の三氏が新役員として選任されました。今後、この新役員の方々の活躍と白河支部の益々の発展を期待するものであります。

会長さんをはじめ、各支部役員の方々におかれましても、よろしくご指導ご協力のほど、お願い申し上げます。

いわき支部

「太陽光発電」で技術講習会を開催

四月十六日午後一時から、支部恒例の技術講習会を会員企業内外から八十四名が参加し、新瀧で開催した。

今回のテーマは、太陽光発電関連技術の講習会で、①太陽光発電（PV）とは②業界及びメーカーの動向③太陽光発電の具体的設置例④個人住宅、業務用システムの助成金制度等について学んだ。

日新電設㈱の佐野常務、常興電機㈱佐藤社長のお世話で、講師に住友電設㈱プラント空調事業部太陽光発電システム販売促進グループ森眞幸部長と同電気計装部太陽光発電グループの小笠原忠好課長を招いた。

太陽光発電とは、太陽光を太陽電池で電気エネルギーに変換させるシステムで、PVシステム（Photo・Voltaic・System）と呼ばれている。

太陽電池は、シリコン系と化合物系に分かれ、シリコン系は結晶系と非晶質系に、結晶系は単結晶系と多結晶系に、非晶質系はアモルファス系に分類されている。結晶系は安定した動作や高変換効率、高信頼性が特長で主流となっている。

変換効率はやや低いが、アモルファスシステムは薄膜太陽電池で将来の主流候補となっている。

住宅用施設は、三キロワット程度が主で、一九九四年の設置費用は約六〇〇万円程度だったが、一九九七年には三百三十万から三百六十万円まで下がり、四年間で約半額となっている。

技術の革新で、さらに低価格化が進んでおり、現在は主に公共施設へ利用されているところだが、低廉化に合わせ国や地方行政等の助成金制度を活用することで、一般住宅への導入が可能となった。

電気は、クリーンで安全なエネルギーとして定着している今、太陽光発電システムは、設計事務所や顧客へ推奨することと新分野を開拓する業務として、大いに期待が寄せられている。

相双支部

11年度事業を決定

さる五月十七日、相双支部通常総会を第一イン原町で開催した。

支部長あいさつの後、議事に入り、第一号議案・平成十年度事業報告並びに決算承認の件、第二号議案・平成十一年度事業計画案並びに収支予算案承認の件、第三号議案・役員改選について審議され、全て原案通り承認、可決された。

なお、平成十一年度の事業計画は、①事業量の拡大確保対策の推進②施工技術・施工能力の向上③会員相互信頼の確立―が決定された。

また、新役員は、支部長が早川武邦氏（早川電気工業㈱）、副支部長が八巻正隆氏（旭電設工業㈱）、理事に青田純氏（㈱青田電気商会）がそれぞれ選出された。

会津支部

ゴルフ大会を担当

会津の山々も緑が深まってきた今日この頃です。

街の中では、各地からの修学旅行の学生が探索しています。周りでは、田植えが行われ、とても気持ちの良い季節になりました。

平成十一年度の第三十回協会ゴルフ大会が、当会津支部の担当で行われました。出場者六十名と支部会員十一名の参加で盛大に開催され、青空の磐梯山を仰ぎ、実行委員長佐藤脩一支部長もニコニコでした。

当日は、天気も晴天、気温も熱いくらいで、皆さん、日に焼け真っ赤な顔をしていました。また、高齢の方には常用カートにてプレーしていただき、全員で楽しくラウンドしてきました。結果は、本当に申し訳なく思いますが、地元支部の目黒勝氏が優勝しました。（本人は実力なのでしょうがない―様なことを言っていました）。会長賞として会津桐下駄（男女ペア）を三組揃えていただきました。商品の内容も時期的に苦労しましたが、会津の地場産品でまとめ、会津の美味しいものをたくさん入れさせてもらいました。参加賞は、会津のコシヒカリの米十キロを一人ひとりに手渡し、「米どころ会津」のPRをさせていただきました。

協会の動き

4月

7～9日・平成11年度協会研修旅行（参加者57名）小田原・横浜方面
13日・第1回総務委員会（正副会長、各総務委員、専務、事務局長）協会会議室
20日・㈳日本電設工業協会東北支部平成11年度第1回常任委員会（会長）㈱ユアテック本社（仙台市）
23日・第1回理事会（全理事）福島ピューホテル
26日・建築・設備工事共通仕様書平成11年度版説明会（申込者）ビッグパレットふくしま
28日・第1回監事会（会長、会計理事、全監事、事務局）協会会議室

5月

7日・福島支部総会（支部会員）ウエディングエルティ
10日・㈳県建設産業団体連合会第46回正副会長会議（会長）建設センター
11日・いわき支部総会（支部会員）いわき市
13日・福島西部環状道路建設促進期成同盟会平成11年度総会（事務局長）ウエディングエルティ
14日・㈳県建設業協会総会（佐藤副会長）ウエディングエルティ
15日・自由民主党県連主催池田行彦同党政務調査会長への陳情（佐藤副会長）ウエディングエルティ
・郡山支部総会（支部会員）郡山ビューホテルアネックス
17日・うつくしま未来博推進協議会第2回総会（三瓶副会長）ビッグパレットふくしま
・㈳日本電設工業協会東北支部通常総会（会長、専務、事務局長）仙台東急ホテル
・相双支部総会（支部会員）原町市
19日・㈳日本電設工業協会第49回通常総会東京都
・県住宅フェア実行委員会第1回幹事会（専務、事務局長）自治会館
・㈳県空調衛生工事業協会総会（会長）ホテル辰巳屋
20日・県電波障害防止協議会平成11年度第1回幹事会（専務、事務局長）あぶくま会館
・県建築設計協同組合総会（会長）杉妻会館
・福島地区電気工事協同組合総会（佐藤副会長）福島グリーンパレス
21日・当協会第49回通常総会（全会員）ホテル辰巳屋
24日・㈳県建設産業団体連合会第53回役員会（会長）建設センター
26日・県電気工事工業組合総代会（会長）福島ピューホテル
27日・首都機能移転促進協議会総会（事務局長）ホテル辰巳屋
28日・建設業労働災害防止協会県支部第61回役員会（会長）ホテル辰巳屋
・建設業労働災害防止協会県支部第35回通常総会（正副会長、福島支部長、事務局長）ホテル辰巳屋
31日・平成11年度建設構造改善週間講演会・優秀施工者顕彰式、受賞者は大和電設工業㈱澤荘一郎氏（会長、佐藤副会長、専務、事務局長）ホテル辰巳屋
・㈳県建設産業団体連合会第15回通常総会（会長、佐藤副会長、三瓶副会長、専務、事務局長）ホテル辰巳屋
・シンポジウム「21世紀を拓く首都機能移転」（福島支部会員）福島グリーンパレス
・㈳県建設産業団体連合会主催異動専務理事等歓送迎会（専務、事務局長）ホテル辰巳屋

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤
ワイム
株式会社山形電機製作所
福島営業所　所長　高橋　実
福島市大森字宮ノ前54-5　〒960-8237
TEL(024)546-1321　FAX(024)546-1322
支店・営業所／東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工　場／山形・北海道千歳

配分電盤専業メーカー
営業品目
屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤
株式会社福陽電機製作所
福島市天神町10番41号
TEL024－534－1528　FAX024－533－8590

電気技術綜合コンサルタント!!
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。
社団法人東北電気管理技術者協会
協会本部／仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシーザ仙台ビル　☎(022)261-6015
福島県支部／いわき市勿来町関田和久2-1　☎(0246)64-8694
福島電気管理センター／福島市笹谷字桜水37-4　☎(024)557-5877
郡山電気管理センター／郡山市日和田町字日向84-5　☎(024)958-5203
会津電気管理センター／河沼郡河東町大字谷沢字十文字53　☎(0242)75-2518
原町電気管理センター／原町市仲町一丁目157　☎(0244)22-2817
白河電気管理センター／西白河郡東村大字釜子字枇杷山68-3　☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター／いわき市平字堂ノ前18　☎(0246)21-9828

株式会社　宮城電機
営業品目
屋内外閉鎖型配電盤・高低圧配電盤・直流電源装置
計装盤・空調・衛生中央監視盤・コントロールセンター
各種自動制御盤・分電盤・端子盤
郡山営業所／〒963-8014郡山市虎丸町5番8号　日宝郡山第一ビル503
TEL(024)代939-2813・FAX(024)939-2814
いわき営業所／〒970-8026いわき市平上荒川字安草48
TEL(0246)28-1491・FAX(0246)28-3662
本社・営業部／〒981-0924仙台市青葉区双葉ケ丘一丁目45番8号
TEL(022)代234-3311・FAX(022)234-3315

FURUKAWA
配電盤
制御システムメーカー
古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長　小野寺　優
福島県郡山市若葉町11-23・☎(024)934-0859
FAX(024)934-0861
本社：仙台市青葉区二日町6－12
仙台工場：仙台市宮城野区扇町2－1－10
支店・営業所：仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

照明器具・配線器具・開閉器・換気扇・配電機器
電線・電線管及び付属品・電設資材全般卸
地域と共に歩む
東北東芝電材株式会社
福島営業所　☎(024)553-4165
相馬営業所　☎(0244)36-8901
郡山営業所　☎(024)934-3065
須賀川営業所　☎(0248)72-7260